

公共交通に関するアンケート 回答用紙

問1. はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。(1つに)

| | |
|-------------------|---|
| 性別は？ | 1: 男性 2: 女性 |
| 年齢は？ | 1: 20歳未満 2: 20歳代 3: 30歳代 4: 40歳代 5: 50歳代 6: 60～64歳 7: 65～69歳 8: 70～74歳 9: 75～79歳 10: 80歳以上 |
| お住まいは？ 町単位です。 | 1: 相楽町 2: 大塚町 3: 海陽町 4: 三谷町 5: 三谷北通 6: 平田町 7: 豊岡町 8: 五井町 9: 水竹町 10: 清田町 11: 坂本町 12: 神ノ郷町 13: 府相町 14: 新井形町 15: 蒲郡町 16: 堀込町 17: 新井町 18: 八百富町 19: 神明町 20: 本町 21: 上本町 22: 中央本町 23: 元町 24: 宝町 25: 御幸町 26: 宮成町 27: 緑町 28: 旭町 29: 丸山町 30: 竹島町 31: 松原町 32: 港町 33: 栄町 34: 柏原町 35: 竹谷町 36: 西迫町 37: 拾石町 38: 鹿島町 39: 浜町 40: 一色町 41: 金平町 42: 形原町 43: 形原町北浜 44: 形原町春日浦 45: 西浦町 46: その他(_____) |
| 職業は？ | 1: 自営業 2: 会社員 3: 公務員 4: パート・アルバイト 5: 主夫・主婦 6: 学生・生徒 7: 無職 8: その他(_____) |
| 自動車免許はお持ちですか？ | 1: 持っている 2: 持っていない |
| 自家用車はお持ちですか？ | 1: 自由に使える車がある 2: 家族で共有している 3: 持っていない |
| 外出(通勤・通学含む)については？ | 1: 外出には困難を感じない 2: 杖などを使用して外出 3: 介助を必要とする 4: 外出は困難な状況である |

問2. 外出(通勤・通学含む)の頻度や目的についてお伺いします。

問2 - 1. あなたは、どの程度の頻度で「外出」しますか。(1つに)

- | | | |
|-------------|------------|-----------|
| 1: 1週間のほぼ毎日 | 2: 平日はほぼ毎日 | 3: 週に3～4日 |
| 4: 週に1～2日 | 5: 1ヶ月に数日 | 6: 年に数日 |
| | | 7: その他 |

問2 - 2. 「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段、名前・場所、外出の時間帯を教えてください。
 (「通勤」には、自営・農業等を含みます)

| | | 外出する頻度は？ (1つに を つけてください) | ➡ | その時の「交通手段」は？ (該当するすべての番号に を つけてください) | ➡ |
|--------------------------|---|--|---|--|---|
| 「通勤・通学」 の場合 | ➡ | 1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (次の問へ) | ➡ | 1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス 7: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 8: 鉄道(JRなど) 9: その他() | ➡ |
| 「買い物や 娯楽」 の場合 | ➡ | 1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (次の問へ) | ➡ | 1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス 7: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 8: 鉄道(JRなど) 9: その他() | ➡ |
| 「病院や 福祉施設」を 利用する場合 | ➡ | 1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (次の問へ) | ➡ | 1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス 7: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 8: 鉄道(JRなど) 9: その他() | ➡ |

| 「目的地」はどこですか？ 施設の名前・場所を教えてください | | ➡ | 外出の「時間帯」は？ | |
|------------------------------------|--|---|--|--|
| 施設の名前 | 場所(中学校区) | | 出発の時間帯 | 帰宅の時間帯 |
| 例： 会社、 高校、 等 () | 1: 大塚 2: 三谷 3: 蒲郡 4: 中部 5: 塩津 6: 形原 7: 西浦 8: 市外 () | ➡ | 1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 ()時 | 1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 ()時 |
| () | () | | () | () |
| 例： 商業施設(店舗名) 図書館 等 () | 1: 大塚 2: 三谷 3: 蒲郡 4: 中部 5: 塩津 6: 形原 7: 西浦 8: 市外 () | ➡ | 1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 ()時 | 1: 11時台 2: 12時台 3: 13時台 4: 14時台 5: 15時台 6: 16時台 7: 17時台 8: 18時台 9: 19時台 10: その他 ()時 |
| () | () | | () | () |
| 例： 蒲郡市民病院、 老人福祉センター等 () | 1: 大塚 2: 三谷 3: 蒲郡 4: 中部 5: 塩津 6: 形原 7: 西浦 8: 市外 () | ➡ | 1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 ()時 | 1: 11時台 2: 12時台 3: 13時台 4: 14時台 5: 15時台 6: 16時台 7: 17時台 8: 18時台 9: 19時台 10: その他 ()時 |
| () | () | | () | () |

「施設の名前」について、具体名を記入することに支障がある場合は、「にある会社」、
「にある病院」等、大まかな場所と目的をお答えください。

問3 . 公共交通に対する評価についてお伺いします。

問3 - 1 . 日常の公共交通での移動に不便を感じていますか？ (1つに)

1: 感じている 2: やや感じている 3: あまり感じていない 4: 感じていない

→ 上記問3 - 1で、1・2 を選択した、不便に感じている人にお伺いします。
不便を感じる理由は何ですか？ (3つまでに)

- 1: 自宅から鉄道やバス停留所までが遠い
- 2: 利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない
- 3: 通常のタクシーが利用できるが、料金が高い
- 4: 家族等に送迎してもらう必要があり、家族等に遠慮がある
- 5: 介助や杖を必要とする・外出そのものが困難な状況である
- 6: 車の方が公共交通と比べて便利
- 7: その他 ()

問3 - 2 . 公共交通(鉄道・バス・タクシー等)が「ない」あるいは「利用しづらい」ために、
外出を控えたことがありますか？ (1つに)

1: よくある 2: たまにある 3: ない

問4 . バスの利用実態とその満足度についてお伺いします。

問4 - 1 . 市内のバスの利用状況についてお伺いします。

(1)あなたはバスをどの程度利用されますか？ (1つに)

1: 週に3日以上 2: 週に1～2日 3: 1ヶ月に数日 4: 年に数日
5: ほとんど乗らない (問5へ)

(2)主なバスの利用目的をお答えください。 (2つまで)

1: 通勤 2: 通学 3: 買い物 4: 塾・習い事 5: 趣味・娯楽
6: 通院 7: 福祉施設の利用 8: その他公共施設の利用
9: その他 ()

問4 - 2. 現状のバスのサービス水準(運行本数、ルート、車両等)について、満足していますか？ (1つに)
また、その満足・不満の理由をお答えください。

| |
|---|
| 1: 満足 2: おおむね満足 3: やや不満 4: 不満 5: バスを必要としない (わからない) |
|---|

満足な理由は？ (3つまで)

不満な理由は？ (3つまで)

| | |
|---|--|
| 1: 目的地に直接行ける 2: 目的地まで早く行ける 3: 自宅から停留所までが近い 4: 乗りたい時間に運行している 5: 運賃が安い 6: 座れる 7: 時間通りに来て予定が組みやすい 8: 利用方法が簡単 9: バス以外に交通手段がない 10: その他(_____) | 1: 目的地に直接行けない 2: 目的地まで早く行けない(時間がかかる) 3: 自宅から停留所までが遠い 4: 乗りたい時間に運行していない 5: 運賃が高い 6: 座れない 7: 時間が読めない。予定が組みにくい 8: 利用方法を知らない・難しい 9: 車などのバス以外の交通手段がある 10: その他(_____) |
|---|--|

問5. 「名鉄西尾・蒲郡線」の利用実態とその満足度についてお伺いします。

問5 - 1. 名鉄西尾・蒲郡線の利用状況についてお伺いします。

(1) あなたは名鉄・西尾蒲郡線をどの程度利用されますか？ (1つに)

| | | |
|----------------------------|-----------|-----------|
| 1: 週に3日以上 | 2: 週に1～2日 | 3: 1ヶ月に数日 |
| 4: ほとんど乗らない ……(次頁の問5 - 2へ) | | |

(2)あなたが「名鉄西尾・蒲郡線を利用する理由」をお聞かせください。
(問5 - 1で、1～4を選択した人) (あてはまるものすべてに)

- 1: 目的地に行くのに便利
- 2: 自宅から駅までが近い
- 3: 乗りたい時間に運行している
- 4: 運賃が安い
- 5: 名鉄が最も速い交通手段である
- 6: 名鉄以外に交通手段がない
- 7: 車を持っていない(運転できない)
- 8: その他(_____)

(3)名鉄西尾・蒲郡線の主な利用目的をお答えください。(2つまで)

- 1: 通勤
- 2: 通学
- 3: 買い物
- 4: 塾・習い事
- 5: 趣味・娯楽
- 6: 通院
- 7: 福祉施設の利用
- 8: その他公共施設の利用
- 9: その他(_____)

問5 - 2. 名鉄西尾・蒲郡線を利用しない人にお伺いします。

(1)あなたが「名鉄西尾・蒲郡線を利用しない理由」をお聞かせください。
(あてはまるものすべてに)

- 1: 行きたい場所に名鉄が通っていない
- 2: 行きたい時間に名鉄が運行していない
- 3: 自分で車を運転できるから
- 4: 家族の人が車で送迎してくれるから
- 5: 駅まで遠い
- 6: 電車の乗り降りや外出するのが負担
- 7: 運行本数が少ない
- 8: 運賃が高い
- 9: 目的地まで時間がかかる
- 10: 目的地まで遠回りする
- 11: 始発の時間が遅い
- 12: 最終の時間が早い
- 13: 吉良吉田駅で乗り継ぎがあり不便
- 14: バスなどとの乗り継ぎが発生し不便
- 15: 時刻表がわからない
- 16: 鉄道の利用方法がわからない
- 17: その他(_____)

(2)あなたが名鉄西尾・蒲郡線を利用するためには、どのような改善を望みますか。
(あてはまるものすべてに)

- 1: 自宅から最寄り駅までのバス等の公共交通を運行してほしい
- 2: 駅周辺に駐車場や駐輪場を整備してほしい・駅名は? (_____)
- 3: 電車の運行本数・運行時間を見直してほしい
- 4: マナカの導入など駅舎環境を整備してほしい
- 5: 平成27年度までの運行は決定しているが、以降の長期の運行継続を保証してほしい
- 6: 特に改善は求めない
- 7: その他(_____)

問5 - 3. 蒲郡市では、各種団体や市民の皆さんと一緒に「名鉄西尾・蒲郡線」の利用促進を図っています。こうした活動について、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。（あてはまるものすべてに）

- 1: 生活に必要な路線であるので、積極的に利用するなどの協力を行いたい
- 2: 路線を存続させるために、今以上に利用促進を図るべき
- 3: 廃線の危機にあることを、もっと地域で共有するようにPRすべき
- 4: 廃線になったときの影響（地価の下落など）をもっと地域住民が知るべき
- 5: 路線が廃止にならないよう税金投入の維持拡大を継続すべき
- 6: 利用が拡大しないのなら、これ以上の税金投入をやめ、代替の交通手段に切り替えるべき
- 7: その他（ _____ ）

問5 - 4. 名鉄西尾・蒲郡線は、後述のバス路線図で示すように、民間の路線バスが名鉄と並行してルートが設定されています。

現状、名鉄にも路線バスにも税金投入を行い、維持している状況です。

名鉄と路線バスの相互に利用者が乗り換えて、お互いの利用者増加に貢献している一方で、利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性もあります。こうした状況に対して、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

（あてはまるものすべてに）

- 1: 名鉄も路線バスも民間の交通事業者がそれぞれの考えで運行している事業であるため、事業者任せにすればよい
- 2: 名鉄と路線バスが相互に接続することで、お互いの利用者の増加に貢献しており、現状のままでよい
- 3: 利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、路線バスの運行内容の見直しを行い、名鉄に利用者が集中するように促すべき（路線バスへの税金投入額の削減も行う）
- 4: 利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、名鉄と路線バス両方の運行内容を見直し、路線バスに利用者が集中するように促すべき
- 5: 税金投入額を増加して、名鉄も路線バスも現在のサービス水準から向上させることで、それぞれの利用者の増加を促し、運賃収入の拡大を目指すべき
- 6: 名鉄に対する税金投入額を増加して、名鉄のサービス水準を向上させることで、それぞれの利用者の増加を促すべき
- 7: 路線バスに対する税金投入額を増加して、路線バスのサービス水準を向上させることで、それぞれの利用者の増加を促すべき
- 8: どんな対応をすべきかわからない
- 9: その他（ _____ ）

問6. 蒲郡市の将来的な公共交通のあり方についてお伺いします。

蒲郡市では、民間の路線バスが確保されていますが、これらの路線の維持のために一部経費を負担（税金投入）しています。また、民間のバス事業者だけに頼ることはできず、「70歳以上の住民に対してタクシーチケットの配布」などの市主導の事業も展開しています。平成23年度は、名古屋鉄道に約9,900万円（このうち3,300万円は愛知県が補助）、名鉄バス東部に約3,500万円、タクシーチケット事業に約1,300万円、合計約1億1,400万円の税金投入を行いました。

市の経費負担の規模は大きく、このまま現状の負担を継続してよいか判断が難しく、将来に向けて見直す必要があると考えています。

（参考までに、最終ページに平成25年度の蒲郡市全体の事業予算を紹介しています。）

問6 - 1. 税金投入して維持しています蒲郡市内の公共交通は、どのような「目的」のために、優先して維持すべきと思いますか？

「優先される目的」を3つまで選んでください。（3つまで）

- 1: 「通勤」できるようにするため
- 2: 高校生・大学生が「通学」できるようにするため
- 3: 「買い物」ができるようにするため
- 4: 「病院に通院」できるようにするため
- 5: 蒲郡駅など主要の「駅」を利用できるようにするため
- 6: 市役所などの「公共施設」を利用できるようにするため
- 7: 「その他の施設」の利用ができるようにするため
・・・どんな施設ですか（ ）
- 8: 高齢者や身体障害者などの移動が困難な方の生活の足を確保するため
- 9: 民間の事業なので、運行目的は、民間の交通事業者にまかせればよい
- 10: わからない
- 11: その他（ ）

問6 - 2. 蒲郡市内の公共交通は、すべて「民間の交通事業者」により運行されています。今後の公共交通は、「だれ」がどのように「維持」すべきと思いますか？

あなたの考えに近い回答を1つ選んでください。（1つに）

- 1: 現状のように運賃収入だけでは賄えない赤字分を行政が負担して、民間が維持すべき
- 2: 民間の事業なので、運賃収入でまかなえる範囲で、民間にまかせればよい
（運賃収入で維持できないのなら廃止されてもしょうがない。行政負担すべきでない）
- 3: 民間が維持できない部分は、「市」が代わりに、公共交通事業を行うべき
（コミュニティバスや予約型タクシーなどの運行、タクシーチケットの配布などで対応）
- 4: 民間がやらない部分は、地域の助け合いの精神で、住民がボランティアで運転手になり、地域の困っている人を送迎するなど、「住民」が主体となり、対応すべき
- 5: わからない
- 6: その他（ ）

問6 - 3. 蒲郡市内の「民間の路線バス」は、運賃収入だけでは運行できないため、税金を投入して維持しています。

これら「民間の路線バス」は、走行している路線により、利用者数や運賃収入、周辺の居住者数などに違いがあるため、路線ごとに投入する税金の額が異なっています。この違いに対して、あなたの考えに近いものすべてを選んでください。

(あてはまるものすべてに)

- 1: 収支率の悪い(税金投入額の高い)路線は、運行本数を減らしてコストを下げたり運賃を高くして、収支状況の改善を行うべき
- 2: 収支率の悪い(税金投入額の高い)路線は、予約制にして利用者がいない時は走らないようにするなど、コストを削減できる別の方法に変えるべき
- 3: 収支率の悪い(税金投入額の高い)路線は、周辺住民や周辺企業からの寄付などによる支援を仰ぐことで、収支の改善を図るべき
- 4: 一定の税金投入額を超えてしまう路線は、廃止すべき
- 5: 駅や市民病院を中心に蒲郡市全体のネットワークを考えて民間の交通事業者が構築したものであり、路線毎に評価などせず、現状のまま維持すべき
- 6: その他(_____)

問6 - 4. 改めて、財政投入に対するあなたの意見をお伺いします。

鉄道や路線バスを維持するために年間約1億1,400万円の税金を投入しています。この投入額を、どう思いますか?(1つに)

- 1: 多すぎる 2: やや多すぎる 3: 妥当 4: やや少なすぎる 5: 少なすぎる

問6 - 5. 「蒲郡市内の路線バス」を維持するために年間約3,500万円の税金を投入しています。この税投入額をどう思いますか?(1つに)

- 1: 多すぎる 2: やや多すぎる 3: 妥当 4: やや少なすぎる 5: 少なすぎる

問6 - 6. 蒲郡市内の鉄道やバスの維持のため、今後の税金投入とこれら公共交通サービスの水準(運行方法、運賃設定や運行本数等)のあり方について、どのように考えるべきですか?(1つに)

- 1: 現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である
- 2: 今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい
- 3: 税金ではなく、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい
- 4: 利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい(サービス水準は現状維持)
- 5: 現在行われている民間のサービス水準を下げて、税金投入を抑制してほしい(使い勝手が悪くなり利用者が減ることで路線の維持が難しくなる悪循環が生じる可能性がある)
- 6: 税金投入を抑制するために、現在行われている民間のサービス内容を絞り込み、代わりに住民がボランティアで運転手になり困っている人を送迎するなど、別の方法で対応する
- 7: わからない。
- 8: その他(_____)

問6 - 7. 後述の16頁の「蒲郡市のバス路線図」をご確認ください。

蒲郡市には、鉄道駅やバス停留所から遠く、鉄道や民間の路線バスの利用が難しい、山間部等の「交通空白地域」を抱えています。

あなたは、こうした「交通空白地域」に対して、どのような対策を講じる必要があると思いますか？ あなたの考えに近いものすべてを選んでください。

(あてはまるものすべてに)

- 1: 民間のバス事業者が対応しないところだから、交通空白地でもやむを得ない
- 2: 交通空白地域であるので、財政を投入して新たに「市」がバスや予約型タクシーなどを走らせるべき
- 3: 70歳以上に限定しているタクシーチケットを、交通空白地域の住民に対して、それ以外の地域に比べて手厚く配布すればよい
- 4: 70歳以上に限定しているタクシーチケットを、交通空白地域の住民に対して、年齢の制限を無くして配布すればよい
- 5: 地域の助け合いの精神で、住民がボランティアで運転手になり、地域の困っている人を送迎する仕組みを導入すればよい
- 6: 居住場所は個人の問題であり、家族・親類が助ければよく、特に対応する必要はない
- 7: 民間バス事業者と協議・連携し、(一定の補助金を出しても)交通空白地域をなくすよう路線をつくる
- 8: その他(_____)

問6 - 8. 公共交通の維持のためには、たくさんの方が利用する必要があります。

あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか？ (1つに)

- 1: 既に公共交通が中心
- 2: たまにならできると思う
- 3: 将来、年をとったらできると思う
何歳になったら公共交通に転換しようと思いますか？
ア) 60～64歳 イ) 65～69歳 ウ) 70～74歳 エ) 75～79歳
オ) 80～84歳 カ) 85～89歳 キ) その他(歳)
- 4: 現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う

問7. バスを「まったく利用しない人だけ」にお伺いします。

バスを利用する人（当てはまらない人）は、次の問8にお進みください。

問7 - 1. あなたのお住まいの近くにバス停留所がありますか。（1つに ）

- | | | |
|-------------------|-------|--------------------|
| 1: ある | | 問7 - 2を回答ください |
| 2: 自宅の近くにバス停留所はない | } |問7 - 3を回答ください |
| 3: 知らない・わからない | | |

問7 - 2. 上記問7 - 1で、1を選択した人にお伺いします。

あなたが「バスを利用しない理由」をお聞かせください。（あてはまるものすべてに ）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1: 自分で車を運転できるから | 2: 家族の人が車で送迎してくれるから |
| 3: バス停留所まで遠い | 4: バスの乗り降りや外出するのが負担 |
| 5: 行きたい場所にバスが通っていない | 6: 行きたい時間にバスが走っていない |
| 7: 運行本数が少ない | 8: 運賃が高い |
| 9: 目的地まで時間がかかる | 10: 目的地まで遠回りする |
| 11: 時刻表通りに来ない | 12: 目的地への到着が遅れる |
| 13: 始発バスの時間が遅い | 14: 最終バスの時間が早い |
| 15: 帰りに利用できるバスがない | 16: 乗り継ぎが不便 |
| 17: 時刻表やルートがよくわからない | 18: バスの乗り心地が良くない |
| 19: その他（ _____ ） | |

問7 - 3. 上記問7 - 1で、2・3を選択した、近くにバス停留所はない、知らない・わからない人にお伺いします。

自宅近くに、以下の条件のバス(路線)が運行されれば、あなたは利用しますか？（1つに ）

- | | | |
|---------------------|-------------------|--------------------|
| 1: 条件が合えば、必ず利用する | } |問7 - 4を回答ください |
| 2: 条件が合えば、たぶん利用する | | |
| 3: 利用しない | | |
| 利用しない理由は?.....(問8へ) | | |
| ア) 自家用車で移動を優先する | イ) 家族の人が車で送迎してくれる | |
| ウ) 徒歩や自転車がある | エ) その他（ _____ ） | |

問7 - 4 . 条件があえば利用すると回答された方にお伺いします。

(1)「運行本数」に関する条件はありますか？（1つに ）

- ア) 1 時間毎に 1 本程度運行するなら利用
- イ) 30 分毎に 1 本程度運行するなら利用
- ウ) 15 分毎に 1 本程度運行するなら利用
- エ) 運行本数は関係ない（判断条件にはならない）
- オ) その他（ _____ ）

(2)「運賃」に関する条件はありますか？（1つに ）

- ア) 市内の今のバスの運賃と同じ程度であれば利用
- イ) 市内の今のバスよりも安い運賃であれば利用
- ウ) 距離で変動しない「定額運賃」であれば利用
- エ) 運賃は関係ない（判断条件にはならない）
- オ) その他（ _____ ）

(3)「目的地までの所要時間」に関する条件はありますか？（1つに ）

- ア) 乗用車と比べて少し遅れる程度の時間で目的地に着けるなら利用
- イ) ルートの設定から遠回りになるのはしかたがないので、その分の時間なら利用
- ウ) 所要時間は関係ない（判断条件にはならない）
- エ) その他（ _____ ）

(4)「車両の形状」に関する条件はありますか？（1つに ）

- ア) 一般的な「バス」車両であれば利用（車いすやバリアフリーは対応）
- イ) ジャンボタクシーサイズの小型車両でも利用可能
- ウ) 一般的な「タクシー」車両を活用したセダンタイプの後部座席でも利用可能
- エ) 車両の形状は関係ない（判断条件にはならない）
- オ) その他（ _____ ）

(5)ダイヤ(時刻表)に設定された時間に必ず運行する方法を「定時運行方式」と呼びます。「運行方式」に関して条件はありますか？（1つに ）

- ア) 自分が利用したい時間帯に必ず運行している定時運行方式なら利用
- イ) あらかじめ「予約」する方法でもかまわない（不定期運行方式）
（利用者がいなければ、運行しないで済むためコスト削減が可能な方式）
- ウ) 運行方式は関係ない（判断条件にはならない）
- エ) その他（ _____ ）

(6)バスを利用することが考えられる目的は何ですか？

通勤・通学、 買い物、 病院(通院)・娯楽、 その他から選んでください。

また、その目的の目的地(場所)、利用頻度、出発時・帰宅時の時間帯について回答ください。

| | 目的地の場所は？ (1つに) | 外出する頻度は？ (1つに) | 外出の「時間帯」は？ (それぞれ1つに) | |
|-----------|--|--|--|--|
| | | | 出発の時間帯 | 帰宅の時間帯 |
| 通勤 通学 | 1: 大塚 2: 三谷 3: 蒲郡 4: 中部 5: 塩津 6: 形原 7: 西浦 8: 市外 () | 1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない | 1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 ()時 | 1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 ()時 |
| 買い物 娯楽 | 1: 大塚 2: 三谷 3: 蒲郡 4: 中部 5: 塩津 6: 形原 7: 西浦 8: 市外 () | 1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない | 1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 ()時 | 1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 ()時 |
| 病院 | 1: 大塚 2: 三谷 3: 蒲郡 4: 中部 5: 塩津 6: 形原 7: 西浦 8: 市外 () | 1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない | 1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 ()時 | 1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 ()時 |
| その他 | 1: 大塚 2: 三谷 3: 蒲郡 4: 中部 5: 塩津 6: 形原 7: 西浦 8: 市外 () | 1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない | 1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 ()時 | 1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 ()時 |

問8 . 60 歳以上の方に「寿楽荘」についてお伺いします。

問8 - 1 . 老人福祉施設「寿楽荘」(大塚町)を利用しますか？ (1つに)

1: 利用する

利用する頻度は？

ア) 平日はほぼ毎日

イ) 週に3～4日

ウ) 週に1～2日

エ) 1ヶ月に数日

オ) 年に数日

2: 利用しない

問8 - 2 . 毎週水曜日に無料の送迎バス(ふれあい入浴送迎バス)があるのをご存知ですか？ (1つに)

1: 知っている

2: 知らない・・・(問9へ)

問8 - 3 . 実験として平成25年3月27日(水)の1日だけ、形原・西浦方面と山間部方面のふれあい入浴送迎バスが「市民病院」に立ち寄ったことをご存知でしたか？ (1つに)

1: 知っていた・・・(問8 4へ)

2: 知らなかった・・・(問8 5へ)

問8 - 4 . このとき、市民病院への足として利用しなかったのはなぜですか？ (1つに)

1: 市民病院へ行く日ではなかった(予約日ではなかった)から

2: 市民病院への到着時間が行きたい時間と合わなかったから

3: ふれあい入浴バスのバス亭まで行く手段がなかったから

4: 帰りの送迎バスがなかったから

5: 自分の車で行くことができるから

6: 家族等が送迎してもらえるから

7: その他(_____)

問8 - 5 . ふれあい入浴送迎バスが市民病院に立ち寄ることを知っていたら利用しましたか？ (1つに)

1: 利用した

2: 利用しなかった

3: わからない

問9 . 蒲郡市の「観光振興」における公共交通の利用についてお伺いします。

蒲郡市には、ラグーナや温泉など観光資源が豊富にあり、県内でも有数の観光地となっています。しかし、観光客の多くは自家用車で訪れるため、海水浴など観光シーズンなどは渋滞の要因ともなっています。また、高齢化社会を迎えるにあたり自家用車利用が減少し、公共交通(鉄道・バス)の利用が増加すると考えられます。

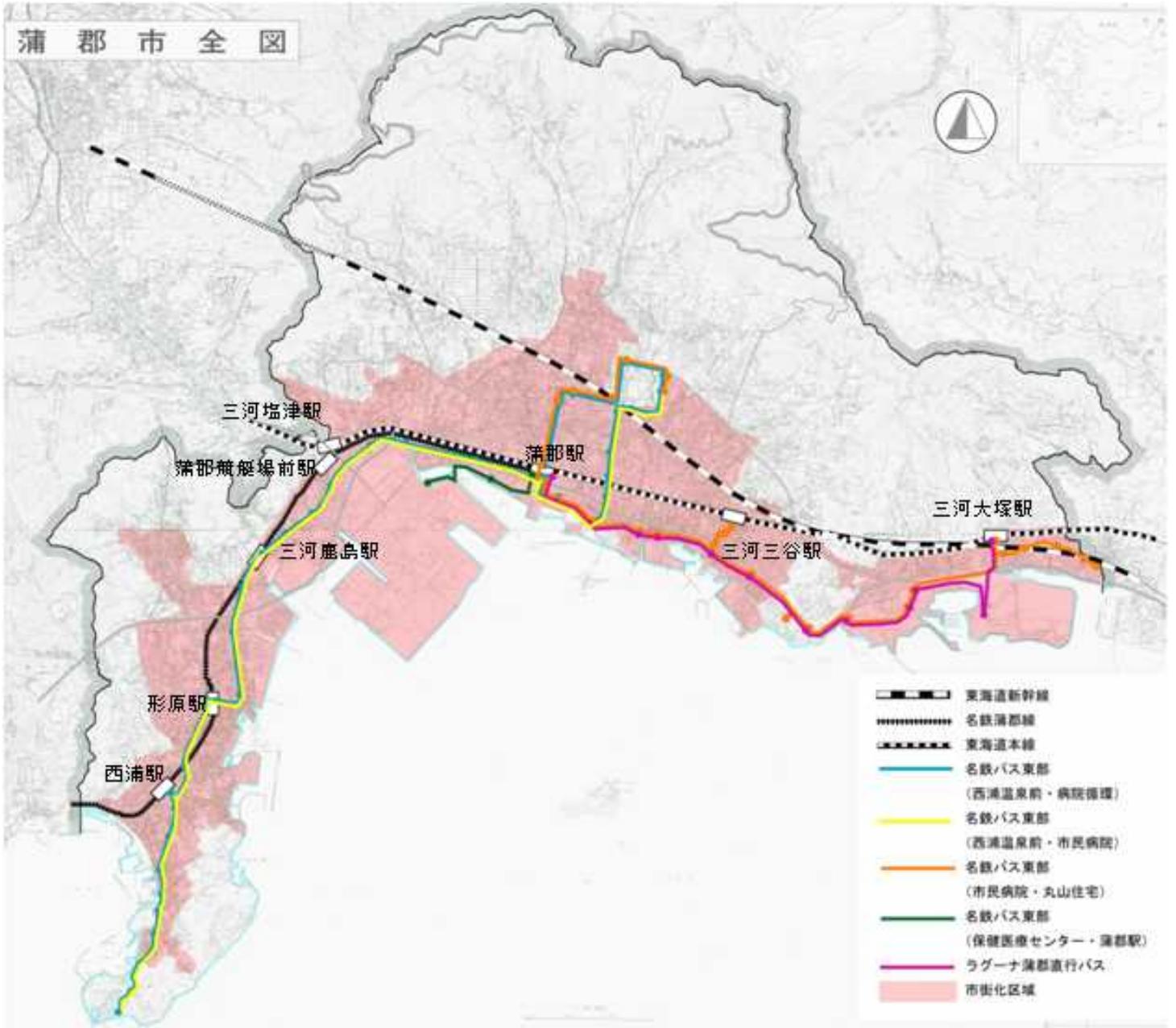
問9 - 1. あなたは、蒲郡市の観光振興のため、観光客向けに、「公共交通」の充実を図るべきだと思いますか？ あなたの考えに近いものすべてをお選びください。
(あてはまるすべてに)

- 1: ラグーナなどに路線バスが運行しており、現状のまま、民間の交通事業者にゆだねておけばよい
- 2: 現状の名鉄西尾・蒲郡線や路線バス等の公共交通の利用を促すため、蒲郡駅などで関係者により積極的にPRすればよい
- 3: 観光客に対してお得なパスポートを配布するなどして、現状の名鉄西尾・蒲郡線や路線バス等の公共交通の利用を促すべき
- 4: 観光客よりも市民の移動の足の強化を優先させるべき(市民の利便性が向上すれば、観光客の利便性も高まる可能性がある)
- 5: わからない
- 6: その他(_____)

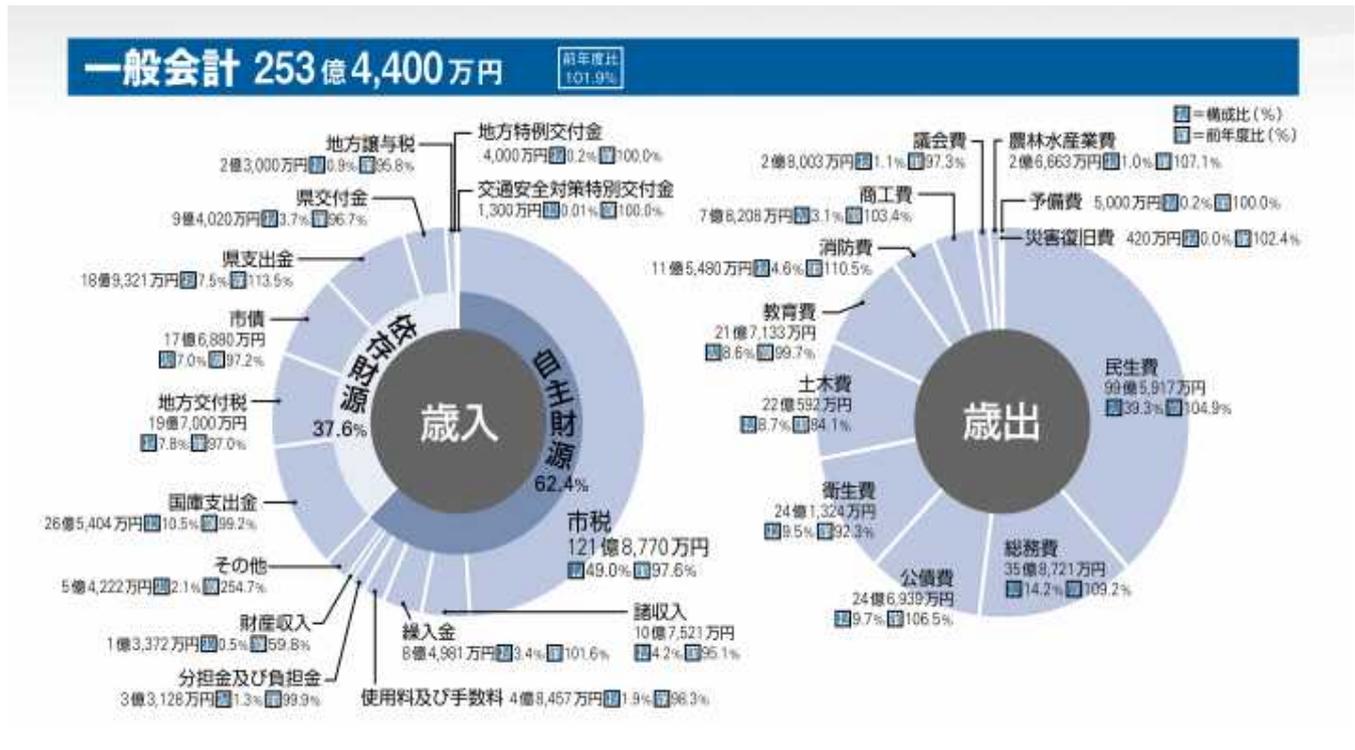
以上でアンケートは終了です。
公共交通(バス等)への、ご意見などがありましたらお書きください。

同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、
平成25年 月 日()までに投函してください。

蒲郡市のバス路線図



別紙 蒲郡市の平成25年度当初予算



出展：広報がまごおり平成25年4月号

予算の主な使いみち（広報がまごおり平成25年4月号掲載）

- ・ 市民プールの代替事業 2,390万円
- ・ 企業誘致の促進 495万円
- ・ 新産業の創出 1,670万円
- ・ 定住の促進 250万円
- ・ 市役所でのパスポート発行 36万円
- ・ ファミリー・サポート・センターの開設 570万円
- ・ 少人数学級の完全実施 8,091万円
- ・ 西浦地区の防災・防犯拠点施設の整備 4,002万円
- ・ 高齢者への肺炎球菌ワクチンの接種費用の助成 141万円

蒲郡市における公共交通に関するアンケート調査について (ご協力をお願い)

市民の皆様には、日ごろから市行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
蒲郡市には、鉄道、路線バス、タクシーの公共交通があります。

名鉄西尾・蒲郡線については、西尾市、名鉄とも協議し、現時点で、平成27年度までの存続が決定しています。

これらの公共交通を維持するために、名鉄電車へ年額9,900万円(このうち3,300万円は愛知県が補助)、路線バスへは年額3,500万円を市が運行補助しています。

また、タクシーについては、平成22年5月から70歳以上の方を対象に3割引き事業を開始し、3割のうち2割を市が、1割をタクシー事業者が負担しています。

タクシー割引制度にかかる市の負担額は年額約1,300万円で、電車、バスへの運行補助と合わせて、市は、年額約1億1,400万円を公共交通に支出しています。

(参考：周辺市の財政投入量：平成22年度実績)

| 市町村名 | 年間事業費 | 人口 | 一人当たり事業費 |
|------|---|----------|----------------------|
| 蒲郡市 | 5,564万円 ¹ (1億1,400万円 ²) | 81,179人 | 685円/人 (1,400円/人) |
| 豊橋市 | 1億6,200万円 | 373,866人 | 430円/人 |
| 豊川市 | 7,970万円 | 180,970人 | 440円/人 |
| 新城市 | 1億5,300万円 | 48,280人 | 3,170円/人 |
| 田原市 | 1億4,000万円 | 63,108人 | 2,220円/人 |

1：平成22年度実績で、鉄道への負担分を含んでいない。

2：平成24年度実績で、鉄道、路線バス、福祉タクシー割引制度の負担分

3：豊川市など平成23年度以降事業見直しを行い事業費が変更した地域がある。

資料：国土交通省中部運輸局調べ

今後、高齢化が進むにつれて、車で移動できない方々が増え、公共交通の必要性も高まっていくものと思われます。

こうした状況の中で、蒲郡市では平成23年度に第4次総合計画を策定し、10年後の将来像に、「子どもや高齢者らが安心して移動することのできる公共交通体系が確立されています。」「地域で創り、守り、育てあげる持続性の高い公共交通体系が形成されています。」と描いています。

総合計画の実施に向け、平成25年3月には、蒲郡市の公共交通について検討すべき、「蒲郡市地域公共交通会議」を立ち上げました。

今年度は、将来の市全体の公共交通の計画となる「蒲郡市地域公共交通総合連携計画」を策定するための調査を実施します。

この計画策定にあたって、市民の皆様のご意見をお伺いさせていただきたいので、アンケート調査にご協力をお願いいたします。

回答にあたってのお願い

- ・ 本調査は、蒲郡にお住まいの16歳以上の皆様から無作為に抽出した6,000人の方々に
対してお送りしております。なお、抽出データは平成25年 月 日現在のものです。
- ・ ご回答内容は、すべて統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用
することは一切ございません。
- ・ 回答は、ご本人（あて名の方）がご記入ください。
- ・ 質問毎に、あてはまる番号に 印をつけるか、()内に必要事項を直接ご記入ください。
- ・ 記入後は、同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、平成25年 月 日()
までにご投函ください。なお、市役所新館4階総務部安全安心課や庁舎1階の総合受付へ
お持ちいただいても結構です。
- ・ この調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。
蒲郡市役所 新館4階 総務部 安全安心課
〒443-8601 蒲郡市旭町17-1
電話：(0533)66-1156 FAX(0533)66-1183
担当：足立